

作業療法研究セミナー

[演習] 第3学年 通年 必修 2単位

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

各講義担当者の授業内容を聴講し、自らの卒業論文テーマを絞り込むこと。ただし、指導教員は学生の希望に合致しない場合もある。

《担当者名》 児玉壮志 岩瀬義昭 鎌田樹寛 本家寿洋 近藤里美 浅野雅子 西出真也 坂上哲可 浅野葉子 朝日まどか
木村恵 桜庭聡

【概要】

ディプロマポリシーに掲げられた5つの要件を満たす前段階として、これまでの北海道医療大学における学習の総まとめとする。

【前期】作業療法研究セミナーの到達目標である「卒業研究」の遂行に向けて、本学入学後の講義や実験・実習を通して抱いた興味や関心と、授業「作業療法研究法」に基づいて、研究指向する領域やテーマ、担当教員を決定するための授業が実施される。具体的には教員毎に、自身の研究対象や関心領域、支援可能な研究領域や課題などに関わるプレゼンテーションとして実施される。

【後期】配属された担当教員の下で、研究課題の設定とその具体化のための授業展開である。具体的には、担当教員指導の下で各種の文献抄読や議論を通して課題の設定に至るプロセスを学習する機会とする。

【学習目標】

自身の研究的興味・関心に基づいたテーマを研究計画作成に取り組む。

1. 自身の研究的興味・関心の領域を焦点化する。
2. 焦点化した研究的興味・関心の課題を具体的に述べる。
3. 自分の興味のある研究分野の論文を探す。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション 教員プレゼンテーション(1)	・作業療法研究セミナー ・ のオリエンテーション、前期の目標と「作業療法研究セミナー ・ 卒業論文作成の手引」の説明 ・精神系OT領域など	児玉壮志
2	教員プレゼンテーション(2)	OT技法(音楽療法)関連 生物学領域など	近藤里美 西出真也
3	教員プレゼンテーション(3)	身体障害作業療法を含む、作業療法全般 身体系OT領域など	岩瀬義昭 本家寿洋
4	教員プレゼンテーション(4)	身体障害作業療法を含む、作業療法全般 身体系OT領域など	坂上哲可 桜庭聡
5	自主学習日	身体障害作業療法を含む、作業療法全般 身体系OT領域など	西出真也 近藤里美 岩瀬義昭 本家寿洋 坂上哲可 桜庭聡
6	教員プレゼンテーション(5)	高齢系OT領域など	鎌田樹寛 浅野葉子 朝日まどか
7	自主学習日	高齢系OT領域など	鎌田樹寛 浅野葉子 朝日まどか
8	教員プレゼンテーション(6)	発達系OT領域など 精神系OT領域など	木村恵 浅野雅子
9	自主学習日	発達系OT領域など 精神系OT領域など	木村恵 浅野雅子 児玉壮志

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
10	自主学習日	作業療法全般	学科の全教員
11	自主学習日	卒論テーマ案作成	学科の全教員
12	今後の授業展開（１）	担当教員案の決定、今後の授業展開の方法の説明	岩瀬義昭 本家寿洋 児玉壮志 桜庭聡
13	自主学習日	担当教員との折衝	学科の全教員
14	自主学習日	担当教員との折衝	学科の全教員
15	今後の授業展開（２）	担当教員の決定	岩瀬義昭 本家寿洋 児玉壮志 桜庭聡
16 ～ 29	個別研究指導（１） - （１４）	各研究グループでの文献の抄読・検索、研究計画の作成作業など	学科の全教員
30	個別研究指導（１５）	４年次の研究構想発表会へのガイダンス	学科の全教員

【評価方法】

担当教員ごとに研究課題の設定に向けた取り組みの過程と努力などを評価する（100％）。

【備 考】

教科書 ： 配布資料「作業療法研究セミナー ・ 卒業論文作成の手引」

参考書 ： 担当教員の指導による。

【学習の準備】

自身の興味・関心の領域や課題をまとめるために、これまでに学習した内容を整理すること。
そのために事前学習と指導後の探索・学習にそれぞれ160分を費やすこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP5)世界の、そして我が国の人口構成の変化、価値観の変化、文化や暮らしの変化、そして絶えず発展し続ける科学、そして医学。その中で私たちは常に人々の健康とより良い暮らしへのニーズに作業療法科学をもって応えていかなければなりません。その専門性をより広く、深く、科学的に追及していくために、能動的に研修と研究を通して自己研さんしていける能力を身につけます。